

広島県経済の動向

令和4年5月15日
商工労働局

目 次

I	経済動向の概要	1
1	国内経済の動向	
2	広島県経済の動向	
II	県内主要製造業の生産動向	3
1	鉄鋼	
2	自動車	
3	造船	
4	一般機械	
5	電気機械	
III	中小企業の動向	5
1	概況	
2	景況感・景況感の変化	
3	前月から変化のあった主な業種	
IV	企業倒産状況	7
1	概況	
2	業種別	
3	原因別	
4	今後の見通し	
V	最近の雇用失業情勢	8
1	県内の有効求人・求職の動向	
2	県内の新規求人・求職の動向	
3	県内の人員整理の状況	
4	完全失業率の状況	

(注)「広島県経済の動向」は、国、その他機関等から発表される各種指標を編集、加工し、とりまとめたものです。

I 経済動向の概要

1 国内経済の動向

(1) 概要

指 標	R4年		
	2月	3月	4月
基調判断	景気は、持ち直しの動きが続いているものの、新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が残る中で、一部に弱さがみられる		景気は、新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が緩和される中で、持ち直しの動きがみられる。
輸出	おおむね横ばいとなっている		
生産	持ち直しの動きがみられる		
設備投資	持ち直しの動きがみられる		
雇用情勢	感染症の影響が残る中で、引き続き弱い動きとなっているものの、求人等に持ち直しの動きもみられる		
個人消費	このところ持ち直しに足踏みがみられる	このところ持ち直しの動きがみられる	
住宅建設	このところ弱含んでいる		
企業収益	感染症の影響が残る中で、非製造業の一部に弱さがみられるものの、持ち直している	感染症の影響が残る中で、非製造業の一部に弱さがみられるものの、総じてみれば改善している	

(2) 先行き

先行きについては、感染対策に万全を期し、経済社会活動が正常化に向かう中で、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、ウクライナ情勢等による不透明感がみられる中で、原材料価格の上昇や金融資本市場の変動、供給面での制約等による下振れリスクに十分注意する必要がある。また、感染症による影響を注視する必要がある。

【内閣府「月例経済報告」(令和4年4月21日公表)】

2 広島県経済の動向

(1) 概要

指 標	R4年		
	2月	3月	4月
基調判断	持ち直しの動きがみられている	サービス消費を中心に下押し圧力が続いているものの、緩やかな持ち直し基調にある	下押し圧力は残るものの、緩やかな持ち直し基調にある。
輸出	持ち直している		
生産	持ち直している		
設備投資	緩やかに持ち直している		
雇用情勢	弱い動きがみられている	一部に改善の動きがみられるものの、全体としてはなお弱い動きが続いている	
個人消費	持ち直しの動きはみられるが、サービス消費を中心に下押し圧力が強い状態にある		下押し圧力は残るものの、持ち直しの動きがみられている。
住宅投資	持ち直している		横ばい圏内で推移している。

(2) 県内の経済の先行き

先行きの景気は、徐々に改善に向かうことが期待されるが、感染症や供給制約などが県内の経済金融情勢に与える影響を引き続き注視していく必要がある。

【日本銀行広島支店「広島県の金融経済月報」（令和4年5月11日公表）】

II 県内主要製造業の生産動向

1 鉄鋼(令和4年3月)

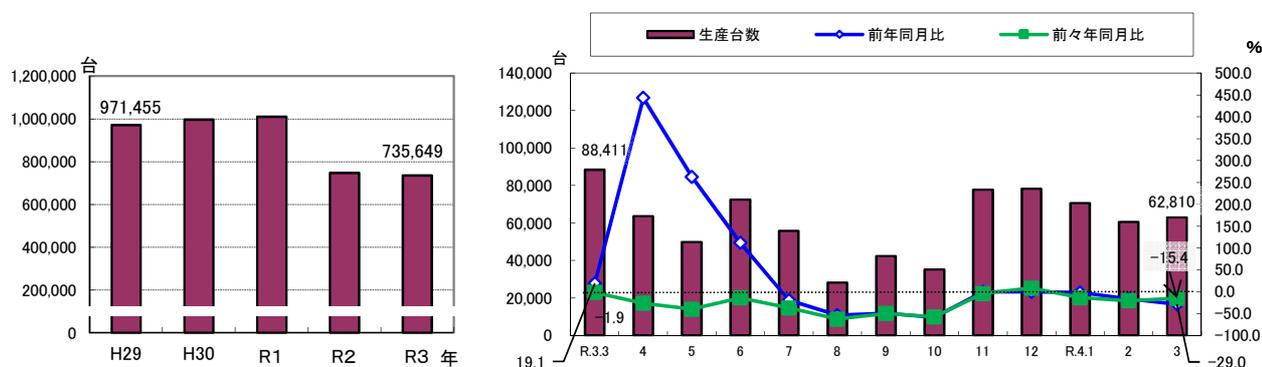
広島県鉱工業生産・出荷・在庫指数について、県統計課が公表済の数値に誤りが発見されました。すべての数値の精査が終了するまで、掲載を停止させていただきます。ご利用いただいている皆様方には、多大なるご迷惑をおかけし、誠に申し訳ございません。

2 自動車(令和4年3月)

3月の国内生産台数は62,810台で、前年同月比で29.0%減少、前々年同月比15.4%減少となっている。

自動車生産台数(年別・月別・前年同月比・前々年同月比)

【マツダ(株)】



3 造船(令和4年3月)

掲載休止中

4 一般機械(令和4年3月)

掲載休止中

5 電気機械(令和4年3月)

掲載休止中

Ⅲ 中小企業の動向(令和3年3月)

【広島県中小企業団体中央会（令和4年4月15日時点）】

1 概況

3月上旬に新型コロナウイルスの新規感染者数の漸減により、まん延防止等重点措置が解除されたものの、原油をはじめとする原材料価格の高騰や人手不足等のマイナス要因もあり、景気はやや悪いまま横ばい傾向となっている。こうした状況の中、依然として先行き不透明感が強く、引き続き今後の需給動向をしっかりと注視していく必要がある。

自動車関連業種では、国内自動車販売台数は前年同月比16.3%減少と9ヶ月連続での前年割れとなった。マツダ車は同23.1%減少となった。また、マツダ車の海外販売合計台数は前年同月比14.8%減少で、7ヶ月連続の前年比減となった。

木材業界では、全国住宅着工戸数は前年同月比6.3%増加となり、広島県内の着工戸数は対前年同比7.3%増加となった。

※マツダ車に関する記載はマツダ（株）が発表する「生産・販売状況について（速報）」に基づく

2 景況感・景況感の変化

業種	2月の景況感	3月の景況感
食料品	やや悪い	やや悪い
繊維・衣服	やや悪い	普通
木材	普通	普通
家具	やや悪い	やや悪い
印刷	やや悪い	やや悪い
化学	やや悪い	やや悪い
プラスチック製品	やや悪い	やや悪い
土石製品	悪い	悪い
鉄鋼(鋳物)	やや悪い	やや悪い
金属製品	やや悪い	やや悪い

業種	2月の景況感	3月の景況感
一般機械器具	やや悪い	やや悪い
電気機械器具	普通	やや好況
自動車部品	やや悪い	やや悪い
造船	やや悪い	やや悪い
建設	普通	やや悪い
トラック輸送	やや悪い	やや悪い
内航海運	普通	やや悪い
卸売	やや悪い	やや悪い
小売	やや悪い	やや悪い
情報サービス	普通	普通

(単位：業種)

景況感	2月	3月	増減
好況	0	0	0
やや好況	0	1	1
普通	5	3	▲ 2
やや悪い	14	15	1
悪い	1	1	0

3 前月(2月)から変化のあった主な業種

業種	2月の景況感	3月の景況感	変化の理由・状況
電気機械器具	普通	やや好況	<ul style="list-style-type: none"> ・売上推移が前月比5%増加、前年同月比15%増加となっており、年間を通じて増加傾向にある。部材調達の困難と価格上昇を要因とする売上の値上げ交渉が必要だが現状の動きは鈍い。また、物流費の高騰が収益の圧迫要因となっているのも業界の懸念事項と言える。 <p>【広島県東部機械金属工業協同組合】</p>
建設	普通	やや悪い	<ul style="list-style-type: none"> ・物件が少なく、新年度も暫く低調で推移する見込み。 <p>【広島県室内装飾事業協同組合】</p>
内航海運	普通	やや悪い	<ul style="list-style-type: none"> ・船員の高齢化が進み、船員不足であり、若年船員が育たない状況が続く。しかし、運賃、用船料の改善も見られず、業界全体として厳しい状況が続く。 <p>【全国内航タンカー海運組合中国支部】</p>

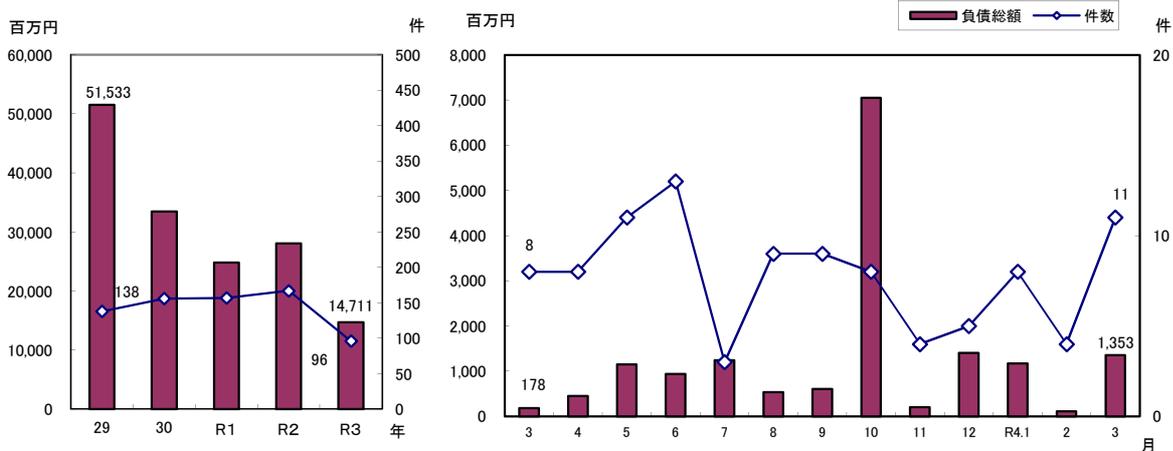
IV 企業倒産状況(令和4年3月)

1 概況

- ・負債総額1,000万円以上の倒産は、件数が11件、総額13億5,300万円であった。
- ・前月比で件数は7件増加し、負債総額は12億4,100万円増加した。
- ・前年同月比では、件数は3件増加し、負債総額は11億7,500万円増加した。
- ・大型倒産（負債総額10億円以上）の発生はなかった。

区 分	令和4年1月	令和4年2月	令和4年3月
件 数 (前年同月比)	8件 (27.3%減)	4件 (42.9%減)	11件 (37.5%増)
負債総額 (前年同月比)	1,168百万円 (114.3%増)	112百万円 (73.4%減)	1,353百万円 (660.1%増)

企業倒産件数・負債総額(1,000万円以上)(年別, 月別・前年同月比)



2 業種別

件数は、卸・小売・飲食業が4件、建設業、運輸・通信、サービス業が各2件、製造業が1件となった。

負債総額では、運輸・通信、建設業、卸・小売・飲食業、製造業、サービス業の順となった。

3 原因別

原因別では、販売不振が7件、他社倒産余波、シワ寄せが各2件であった。

4 今後の見通し

令和3年度(令和3年4月～令和4年3月)の倒産件数は93件と、前年度比(令和2年度142件)では34.5%減(49件減少)となり、倒産は抑制された状態にあるが、令和4年3月度の倒産件数11件は、前年同月比3件増で6ヵ月ぶりの増加となり、倒産件数は底打ちからやや増勢に転じていく可能性が高まっている。

オミクロン株による第6波の感染拡大で発令されていた「まん延防止等重点措置」は3月21日をもって全国で解除となったが、歓送迎会など人の動きも活発となる時期であることなどから、3月下旬頃から広島県内の新型コロナウイルス新規感染者数はやや増加傾向となっており、経済活動の回復の妨げとなりかねない。また、引き続き、燃料価格は高騰しており、4月から食品、日用品等で値上げされているものがあり、個人消費が冷え込む恐れがある中、様々な商品において調達が困難となっており、生産や販売に制限を余儀なくされる企業も出ている。さらにロシアによるウクライナ侵攻を起因とする世界情勢不安の終結時期は未だ不透明であり、長期化した場合に経済活動に悪影響を及ぼす可能性が懸念される。

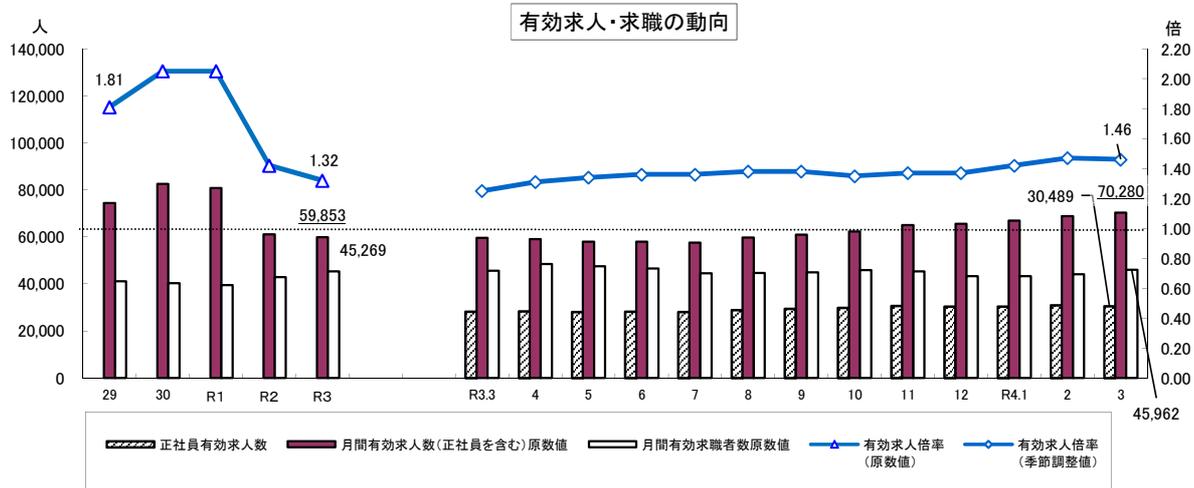
新型コロナウイルス感染拡大による「まん延防止等重点措置」は解除となったものの、前述の通り、企業を取り巻く環境には問題が山積みの中、事業を継続していく将来像が描きにくい時代となっており、過剰債務を抱えた企業や体力の乏しい企業から目が離せない状態が続く。

V 最近の雇用失業情勢(令和4年3月)

1 県内の有効求人・求職の動向

区 分	令和4年1月	令和4年2月	令和4年3月
有効求人倍率<季節調整値> (前月比)	1.42倍 (+0.01ポイント)	1.47倍 (+0.05ポイント)	1.46倍 (▲0.01ポイント)
正社員有効求人倍率 (前年同月比)	1.17倍 (+0.12ポイント)	1.17倍 (+0.13ポイント)	1.11倍 (+0.08ポイント)

【広島労働局】



(注1) 正社員有効求人倍率は、正社員の有効求人人数をパートタイムを除く常用有効求職者数(派遣労働者や契約社員を希望する者も含む)で除して算出しているため、厳密な意味での正社員有効求人倍率より低い値となる。

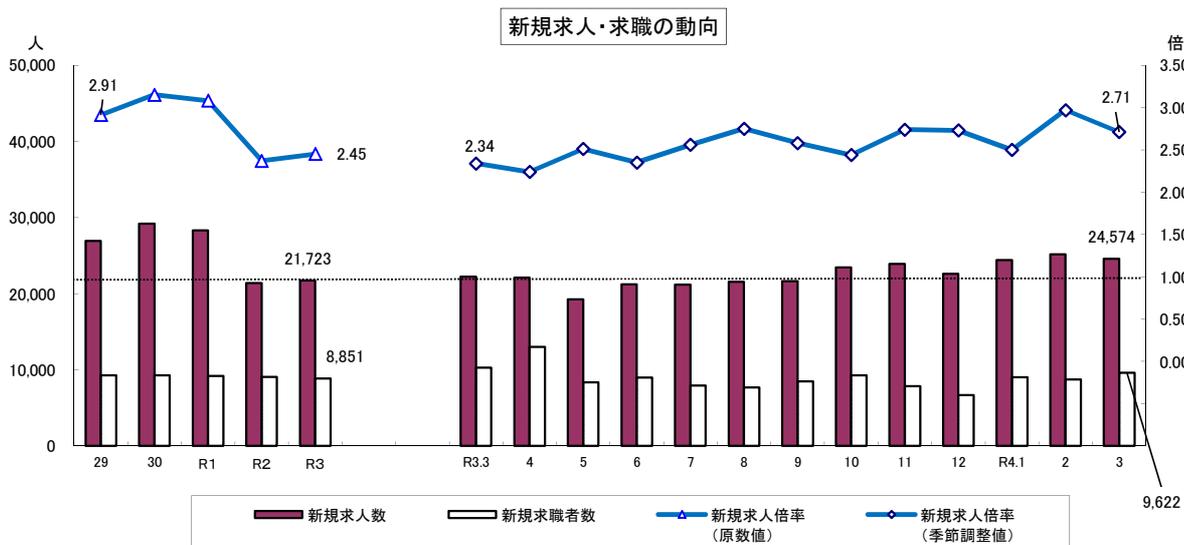
(注2) 正社員有効求人倍率は、季節調整されていない。

(注3) 令和3年12月以前の季節調整値は改訂されている。(令和4年1月分公表時改訂)

2 県内の新規求人・求職の動向

区 分	令和4年1月	令和4年2月	令和4年3月
新規求人倍率<季節調整値> (前月比)	2.50倍 (▲0.24ポイント)	2.97倍 (+0.47ポイント)	2.71倍 (▲0.26ポイント)

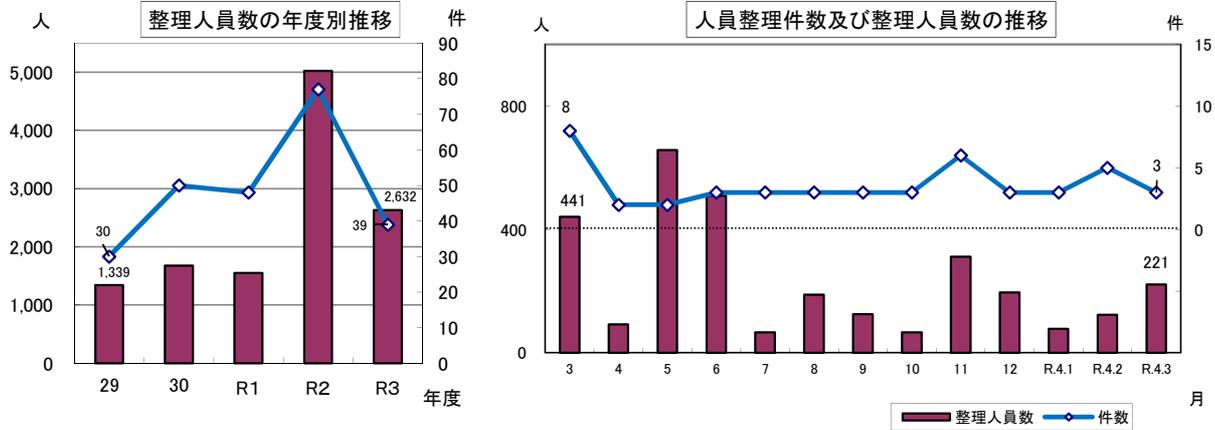
【広島労働局】



(注) 令和3年12月以前の季節調整値は改訂されている。(令和4年1月分公表時改訂)

3 県内の人員整理の状況(整理人員10人以上)

区 分	令和4年1月	令和4年2月	令和4年3月
件数 (前年同月比)	3件 (±0件)	5件 (▲ 5件)	3件 (▲ 5件)
整理人員 (前年同月比)	77人 (▲ 21人)	123人 (▲ 2,064人)	221人 (▲ 220人)

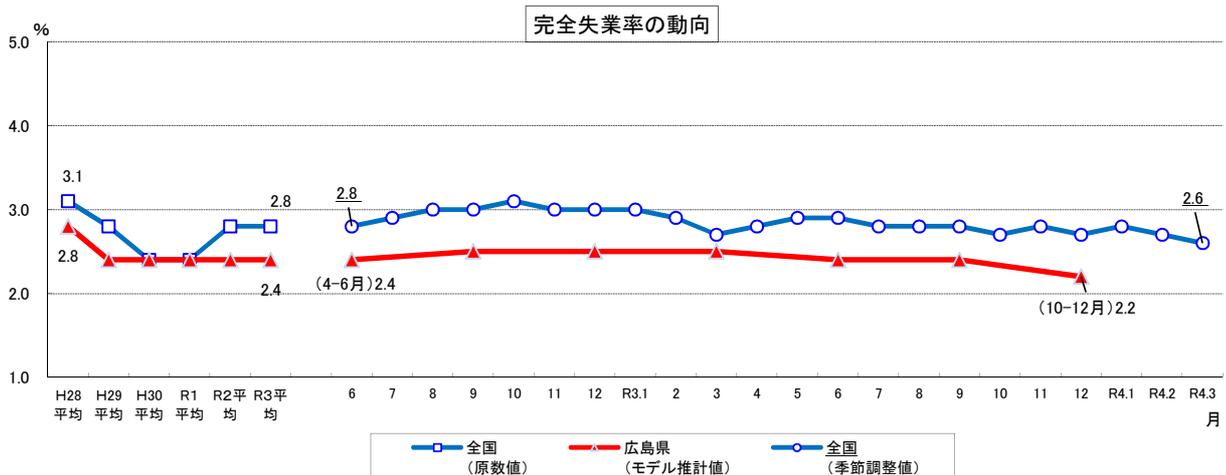


4 完全失業率の状況

区 分	令和4年1月	令和4年2月	令和4年3月
全国完全失業者数 (前年同月比)	185万人 (▲14万人)	180万人 (▲15万人)	180万人 (▲9万人)
全国完全失業率(季節調整値) (前月比)	2.8% (+0.1ポイント)	2.7% (▲0.1ポイント)	2.6% (▲0.1ポイント)

区 分	令和3年		
	4~6月平均	7~9月平均	10~12月平均
広島県完全失業率 (モデル推計値) (前年同期比)	2.4% (±0.0ポイント)	2.4% (▲0.1ポイント)	2.2% (▲0.3ポイント)

【総務省統計局】



※ 広島県(モデル推計値)は、毎年1~3月期平均公表時に、新たな結果を追加して再計算を行い、前年までの四半期平均及び年平均結果を過去にさかのぼって一部改定している。